

でんでんくん



でんでんくん



きめたくん



つちこちゃん

No.6 平成30年1月26日

発行：秋田県立聴覚支援学校内 きこえとことば支援センター



いよいよ今年度もまとめの時期となりました。これまでの指導や支援を振り返り、指導の記録や関係資料をまとめておきましょう。その資料を新年度の担当者や進学先に引き継いで、新年度スムーズにスタートできるようにしましょう。個別の指導計画や個別の支援計画の他、難聴児童生徒にとっては、聴力測定結果(オーディオグラム)、補聴器や人工内耳など機器のデータもとても大切な資料になります。

ろう教育Q&A

聴覚支援学校の先生に聞いてみました

本校には聴覚障害をもつ職員が4名おりますが、そのうち、2名の先生に地域の小・中学校で学んでいた当時の話を伺いました。ご参考になれば幸いです。

Q 小学校や中学校ではクラス替えがありますが、不安に思ったことはありませんでしたか。

A先生

「毎回ドキドキしましたが、小学校時代は、仲の良い友達と一緒にすることが多く、困ったことはありませんでした。ただ、中学校へ進学するとき、みんなと別々の学校になり、とても不安に感じました。新しい環境の中で自分のことをわかってもらい、新しい友達を作るまでに時間がかかりました。振り返ってみると、『自分が聞こえないことを分かってもらうための説明をする』など、必要な体験だったと思います。」

B先生

「担任の先生が誰になるかが一番の心配だったように思います。担任の先生の考え方、活動または学習の進め方が、子ども同士のかかわりを作っていくと思うので、『いい先生だといいな』と漠然と考えていた気がします。座席の配慮やリスニング、集会への参加の仕方についてお願いしていました。」

Q 英語学習について、自分で工夫していたことやお願いしていたことはありましたか。

A先生

「放課後に英語の先生のところに行き、読み方や発音の仕方を教わりました。日本語と英語は全く違う口形なので、慣れるのに苦労しました。聞き取りのミニテストで『言っていることが分からない』と先生に訴えたこともありますが、具体的にどうしてほしいか分かりませんでした。今考えると、リスニングの書き取りの際はカタカナでの提示をしてもらうなど具体的にお願いできることもあったと思います。」

B先生

「1年間ほど英語の家庭教師から、発音の仕方や勉強方法を教わりました。その他には、聾学校の支援部の先生が学校にかけ合ってください、リスニングの配慮(個別で口形を見せながら話してもらう)をしてもらいました。予復習も欠かさず行っていました。ある程度知識をもっている状態で授業を受けるのと、知らない状態で受けるのでは、理解が違うのかなと思います。」

実践紹介 ～自立活動～



1月16日(火)聴覚支援学校で外部から3名の講師をお招きして、「支援機関説明会」がありました。日本聴覚障害ソーシャルワーカー協会の方からは、学校と会社の違い、働く上で大切なこと、働く障害者の権利を守る法律や合理的配慮、社会に出たときに注意することなどたくさんのお話をいただきました。

働く上で、また、社会人として大切なこととして繰り返しお話のあったことは「なんとなく分かる」ではなく、理解できるまで確認する姿勢や、分からないことを恥ずかしがらずに周りに伝える大切さでした。このことは高校生に限らず、どの年齢においても求められる大切な力だと思いました。

各学校でも自立活動の時間などで、進学先での生活や卒業後の生活を想定して、どんなときに、どんな支援が関係機関から得られるのか、困ったときにどこにどんな方法で連絡すればよいのかなど取り上げてみてはいかがでしょうか。

実践紹介 ～難聴理解学習～



〈湯沢市立山田小学校〉難聴理解カルタを使って、人工内耳のことや、聞こえにくい人への話し方など学習しました。

今年度はこれまで小学校、中学校、高校合わせて19校から依頼を受けて難聴理解学習を行いました。

また、「難聴児に関わる職員が難聴について理解し、擬似体験を通して“きこえにくさ”を実感すること」の意義を理解するため、職員研修も合わせて行う学校が増えてきています。

※『難聴理解学習ガイド』を、聴覚支援学校ホームページに掲載していますので、ぜひ、参考にしてみてください。

11月、12月に行った難聴理解学習での児童の感想文から

- ・「わたしは、耳がわるい人は、ゆっくり、はきはきとしゃべることがたいせつだとしたのでよかったです。」(2年生)
- ・ぼくは、聞こえにくいたいけんをして、耳がきこえにくい人は、あれほど聞こえにくいことをはじめてしました。(2年生)
- ・聞こえにくい人には、全く聞こえない人と、あまり聞こえない人がいることは知っていましたが、ぼやけて聞こえることもあると初めて分かりました。(3年生)
- ・聞こえにくい人に、手に書いたり空がきをしたりしてつたえることができることを知りました。(3年生)
- ・にたような言葉だと、口の動きを見ても分かりませんでした。なので、わたしが分かりづらいなら、聞こえにくい人はもっと分かりづらいので、向かいあって、口を大きく開けて、聞き取りやすい声、スピード、大ききで話したいです。(4年生)

難聴に関すること、補聴器に関すること、毎日の授業についてお気軽にご相談ください。

きこえとことば支援センター(秋田県立聴覚支援学校内)

〒010-1407 秋田市上北手百崎字諏訪ノ沢3-127

TEL: 018-889-8572 FAX: 018-889-8575

